

# 大阿蘇青少年ボランティアリーダー塾 事業報告書

事業推進室 末原 美佐

## 1. 事業概要

- (1) 実施期間 平成27年5月30日(土)～31日(日)
- (2) 活動場所 国立阿蘇青少年交流の家
- (3) 参加者 31名(高校生:7名 大学生:23名 一般:1名)
- (4) 事業内容
  - 1日目 「青少年教育」(玉川大学TAPセンター 助教 村井 伸二 氏)  
「安全管理」(帝京大学福岡医療技術学科救急救命士コース 講師 田尻 浩昭 氏)  
(WakuWaku OFFICE あそBe隊 代表 薄井 良文 氏)  
「ボランティア活動の技術(野外調理)」(職員)
  - 2日目 「青少年教育施設におけるボランティア活動」(法人ボランティア・職員)  
「青少年教育施設の現状と運営」(職員)  
「ボランティア活動の意義」(玉川大学TAPセンター 助教 村井 伸二 氏)

## 2. 成果と課題

### (1) 成果

- ① 事業全体を通して、参加者全員の満足度が100%だった。「ボランティアのことだけでなく、応急手当やリーダーシップ、企画運営など、本当に様々な視点から吸収すべきことがあった。」  
「体を動かしながら、たくさんのことを学べたので、本当に良い経験になった。」  
「今まで感じたことのない感動があった。」
- ② 今年度は、先輩ボランティアに参加してもらい、進行や一部プログラムの企画・運営を行ってもらった。参加者が先輩ボランティアの姿を見たことで、ボランティアとしての目標設定ができた参加者もいた。また、実際に企画してやってみたい、という意欲も湧いてきている。
- ③ 昨年同様、村井先生、薄井さんに2日間帯同してもらったことで、2日間を流れのある活動内容で実施することができた。また、職員も活動と一緒に参加したことで、参加者にとって親しみやすい職員というイメージが果たし、職員にとっても学ぶことが多かった。
- ④ 2大学に直接、職員が広報を行ったことで、ボランティアに興味を持ってくれ、参加してくれた大学生が多かった。今後は、更に直接広報できる大学・高校を増やしていきたい。

### (2) 課題

- ① 参加者がボランティアに対してとてもやる気になっているので、当所として事業の支援のみならず、ボランティアを育成していく手段を構築していく必要がある。



集合写真



アイスブレイク



安全管理（シミュレーション）



野外調理



野外調理



グループワーク



グループワーク